

機械器具（42）医療用剥離子  
一般医療機器 剥離子 70952000

## 手根管開放器具

## 【警告】

本手術器械は未滅菌のため、[保守・点検に係る事項]に定める方法で、使用前に必ず滅菌を行い、使用後は必ず洗浄・滅菌を行い、清潔に保管すること。

## 【形状・構造及び原理等】

## 1. 組成

ステンレススチール

## 2. 形状・構造・原理

本品は手根管開放手術に用いる手動式手術用器械である。

尚、本手術器械の製品名、カタログ番号については、包装表示ラベル又は製品本体に記載されていますのでご確認ください。

## □ Cat. No. JS-1101

製品名：手根管開放器具（左）



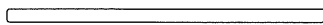
## □ Cat. No. JS-1102

製品名：手根管開放器具（右）



## □ Cat. No. JS-1110

製品名：手根管開放器具用ロッド



## 【使用目的又は効果】

一般外科手術で組織の剥離に用いる器具をいう。ただし、電動式のを除く。本品は再使用可能である。

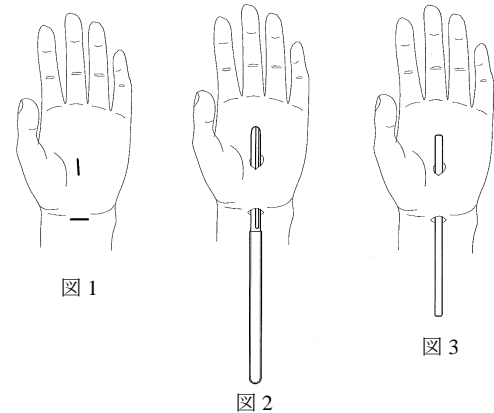
## 【使用方法等】

## \* 1. 使用前

本手術器械は未滅菌のため、手術前に予め[保守・点検に係る事項]に示す条件にて滅菌を施して下さい。

## 2. 使用時（使用例）

- 1) 手掌部に約1cm、手関節皮線に約1cmの皮切を加え(図1)、近位開窓部から遠位の開窓部に向けて横手根靭帯下に神経剥離子を通し、手根管開放器具を通します。(図2)
- 2) 手根管開放器具の溝上に剪刀を滑らせるようにして横手根靭帯を切開します。
- 3) 手根管開放器具用ロッドを通し、手根管が十分に広がったかを確認します。(図3)



## \* 3. 使用後

使用後は、水ですすぎを完全に行い、[保守・点検に係る事項]に定める滅菌方法にて滅菌を行います。

## 【使用上の注意】

## 1. 重要な基本的注意

- 1) 摩耗やキズ等が激しい製品は、破損する恐れがあるので、絶対に使用しないで下さい。
- \* 2) 使用後は隙間部分、内管及び中空部分や複雑な構造を有する部分に血塊等が残らないよう速やかに洗浄後滅菌して下さい。(「保守・点検に係る事項」参照)  
[嵌合部等にある血塊や異物を除去しきれない恐れがあります。]

## 【保管方法及び有効期間等】

## 1) 保管方法

直射日光及び高温多湿を避け保管して下さい。

## 【保守・点検に係る事項】

## \* [使用者による保守点検事項]

## \* 1. 使用前

- \* 1) 本手術器械は未滅菌のため、手術前に予め次に示す条件にて滅菌を施して下さい。

・滅菌方法及び滅菌条件（オートクレーブ滅菌）

熱源	水蒸気	
処理圧力	118 kPa	196 kPa
処理温度	121 °C	132 °C
処理時間	20分以上	5～10分

- \* 2) 製品を使用する前に摩耗、キズ、割れ、有害なバリ、錆、接合の不良等がないか、外観検査を実施して下さい。

## \* 2. 使用後

- \* 1) 使用後は、速やかに洗浄を行い血塊等を除去し、使用前の欄に示す「滅菌方法及び滅菌条件」で滅菌を行い保管して下さい。
- 2) 洗浄中又は洗浄後の製品を放置すると錆び等が発生する恐れがありますのでむやみに放置しないで下さい。
- 3) 洗浄剤は、医療用中性洗剤等の専用の洗剤を用い、適正な濃度で使用して下さい。(洗剤の使用説明を参照して下さい。)

- 4) 強アルカリ／強酸性洗剤・消毒剤は器具を腐食させる恐れがあるので、使用を避けて下さい。やむを得ず使用する際は、製品の状態を確認し腐食等が発生しないよう洗浄して下さい。
  - 5) 洗浄の際、製品の表面等にキズがつかないようにブラシ、スポンジ等を使用し、金属製たわし、クレンザー（磨き粉）等の使用は避けて下さい。
  - 6) 隙間部分や中空穴を有する製品はブラシ等で隙間部分や中空穴部分を入念に洗浄し異物を除去し、洗浄後の製品に異物がないことを十分確認して下さい。
  - 7) 可動部を有するものは可動部分を操作しながら洗浄して下さい。
  - 8) 分解可能なもの或いは組み合わせて使用するものは最小単位まで分解し洗浄を行って下さい。
  - 9) ブラシ等で血塊等を除去できない場合は隙間部分等を血液溶解剤又は蛋白分解酵素剤等を用いて洗浄後、超音波洗浄機を用いて洗浄し、滅菌して下さい。特に隙間部分は異物が残りやすいので、異物がないことを十分確認して下さい。
  - 10) 血液溶解剤又は蛋白分解酵素剤等の薬剤を使用する場合は取扱説明書を参照の上使用して下さい。
  - 11) 超音波洗浄機を使用する場合は、取扱説明書を参照の上使用し、製品に異物等がなくなるまで洗浄して下さい。
  - 12) 超音波洗浄機を使用する際は、ドリル等の刃物が接触し、キズ等が発生しないよう注意して洗浄して下さい。
  - 13) 合成樹脂が使用されている製品に高圧蒸気滅菌を行う場合、合成樹脂部分が滅菌トレー又は滅菌用金網容器等の金属部分に直接触れないようにして下さい。
  - 14) 洗浄、滅菌後可動部分を有する製品がスムーズに可動しない場合は、必要に応じ水性潤滑剤または流動パラフィンを塗布して下さい。水性潤滑剤又は流動パラフィンを使用する場合は取扱説明書を参照の上使用して下さい。
- \* 15) 洗浄後は、水ですすぎを完全に行い、腐食防止のために、直ちに乾燥させて下さい。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

**製造販売業者**

株式会社 ホムズ技研  
〒391-0213 長野県茅野市豊平 4734-352  
電話番号 0266-76-5881

**製造業者**

株式会社 ホムズ技研